令和７年５月吉日

一般社団法人名古屋ローンテニス倶楽部
会長 天野源之

シンクロンコーワ
第７３回全国百歳庭球トーナメントの終了にあたりまして

謹啓

この度、令和７年５月３日（祝）に、第７３回全国百歳庭球トーナメントを名城庭球場において、ペアで 100 歳を超える 112 組 224 名の選手の参加を得て開催いたしました。

87 歳の最高齢者から 13 歳の最年少者までの選手が、日頃鍛えたテニス技術を競い、熱戦を繰り広げ、大会は盛会のうちに無事終了いたしました。

今大会では、興和株式会社様はじめ、多くの企業様、団体様、個人の皆様にご協賛を賜り、厚く御礼申し上げます。今後も、皆様のご期待に沿えるよう、本大会の発展とこの国内唯一の 14 面レッドクレーコートの維持向上に努めてまいります。

大会の開催にあたりまして、愛知県、名古屋市をはじめ、大会の運営に携わった関係者様、当倶楽部の会員、ボランティアの方々のご尽力に感謝申し上げます。

また、念願でありました名城庭球場クラブハウスがこの 4 月からオープン、またクラブハウスを囲む 5 面のコートも同時にリニューアルし、名古屋ローンテニス倶楽部としても 110 余年の歴史の一コマとして残る記念大会になりました。新たな環境の下、参加選手のみならず、応援、観戦に来場された皆様に、楽しい時間を過ごして頂けたと感じております。

大会は、中川恭和・航（親子ペア、合計年齢 106 歳）対松枝つとむ・梅田忠輝（友人知人ペア、合計年齢 106 歳）の決勝戦となり、試合は、決勝に相応しい戦いとなり、松枝・梅田ペアが接戦を制し優勝を決め、大会が終了しました。

最後になりましたが、皆さまのご多幸・ご繁栄を祈念し、御礼のご挨拶とさせていただきます。

謹白